

ボブベックのやさしい投資信託

第40回 ファンドの選び方 その2

(9) ファンドの選び方

(9-A) グラフの見方

今回もグラフの見方を勉強しましょう。下のグラフはAファンドとBファンドの基準価額の推移を指数化したグラフです。どちらのファンドも、直近現在では日経平均を20%程度上回る好成績を収めています。前回お話したグラフの欠点を避けるために、二つのグラフの目盛は同じにしました。また、どちらのグラフにも、比較しやすいように、日経平均の推移を一緒に描いてあります。さて、みなさんは、どちらのファンドをお客様にお勧めしますか？

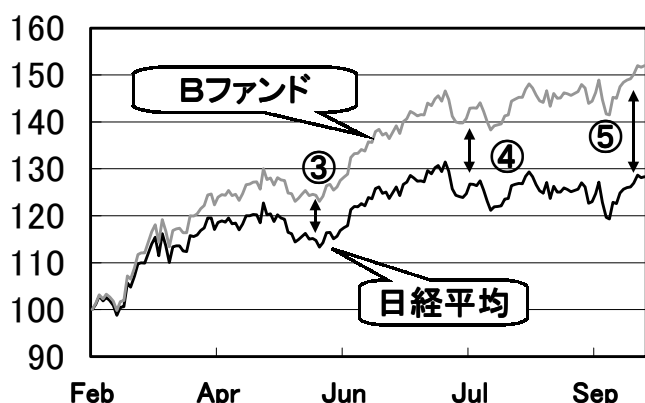
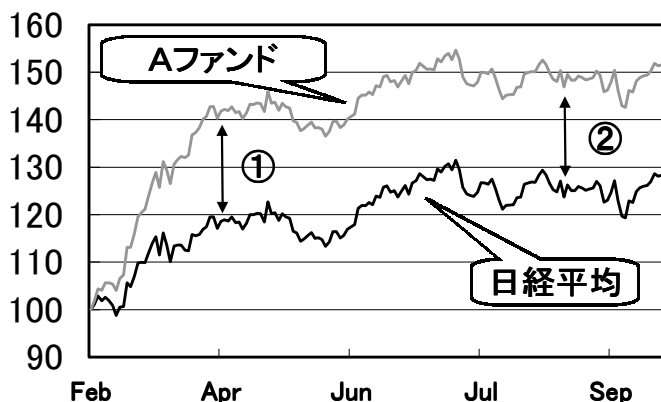
度、見比べてみましょう。次の表は、グラフに記した番号の時点で、ファンドの基準価額と日経平均の上昇率の差をパーセントで表したものです。

Aファンド		Bファンド		
約20%	約20%	約10%	約15%	約20%

Aファンドは、の時点で既に約20%、日経平均よりも大きな上昇となっています。しかしの時点でも、日経平均との差は広がっていません。つまりの時点以降、Aファンドの基準価額は、ほぼ日経平均と同じような値動きだったと言う事です。本来は、日経平均とほぼ同じ程度の運用能力しかないのに、偶然、最初の時期だけ上手く運用できたのかもしれませんが。

一方、Bファンドの方はどうでしょうか？の時点では、日経平均との上昇率の差は約10%程度。Aファンドに比べると出遅れています。しかしの時点、の時点と徐々に日経平均に対する上昇率は広がっています。そして最後にはAファンドと同じ約20%程度の上昇率となっています。堅実に少しずつ成績を向上させているのです。このような運用が出来るファンドマネージャーなら、多分、将来も少しずつ、日経平均を上回る成績を稼いでくれる事でしょう。

新聞や雑誌では、『TOPIXを%上回る好パフォーマンス！』『日経平均を%も上回った好成績のファンド』と刺激的なうたい文句でファンドの購入を勧めています。でも、そのような宣伝文句に躍らされてはいけません。どのような過程で好成績に至ったのかをしっかりと分析し、ファンドを選択するようにしましょう。



ぱっと見ると、Aファンドの方が好成績に見えますね。長期間、日経平均を大きく上回っているように見えます。そこで、基準価額と日経平均の『差』に注目して、再